

令和3年9月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和3年9月24日（金）
午後2時00分開会 午後2時55分閉会
三田市役所 南分館 601会議室他
※新型コロナウイルス感染拡大防止のためリモート会議で開催

○議事日程

| | | |
|------|-------------|--------------|
| 日程第1 | 開会 | |
| 日程第2 | 前回会議録の報告、承認 | |
| 日程第3 | 会議録署名委員指名 | |
| 日程第4 | 会期の決定 | |
| 日程第5 | 教育長の報告 | |
| 日程第6 | 議事 | 議案なし |
| 日程第7 | 報告事項 | 報告第25号から第26号 |
| 日程第8 | その他 | |

○会議に出席した委員（5名）

| | | | |
|----|------|----|------|
| 1番 | 鹿嶽昌功 | 2番 | 吉田礼子 |
| 3番 | 三木尚美 | 4番 | 中上之仁 |
| 5番 | 大野裕己 | | |

○説明のため出席した者（8名）

| | | | |
|--------|------|-----------|------|
| 学校教育部長 | 松下修 | 学校教育部次長 | 外岡明文 |
| 教育総務課長 | 浅野晋司 | 学校教育課長 | 山本直也 |
| 教育支援課長 | 山口貴久 | 教育研修所長 | 小山恵介 |
| 学校給食課長 | 廣瀬敏彦 | 教育総務課担当課長 | 上野樹 |

○代表学校長（2名）

| | |
|----------|------|
| 中学校校長会代表 | 大野正人 |
| 小学校校長会代表 | 木久整 |

○会議に関係した事務局員（3名）

教育総務課 鈴木さやか
松田成行
清家梨奈子

○会議録署名委員

教育長 鹿嶽昌功

教育委員 三木尚美

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和3年9月第270回三田市教育委員会定例会を開会いたします。現在、緊急事態宣言期間のためオンライン開催となります。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和3年8月25日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、3番 三木尚美 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和3年9月24日金曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

緊急事態宣言中ということで、今回もリモートでの定例会となりました。
先月27日から2学期が始まりました。8月中旬から、三田市においても子どもたちの新型コロナウイルス感染の報告を

受けるようになり、2学期の始まりを心配していました。始業式前日には教職員の感染が明らかとなり、濃厚接触者等の確認など感染拡大の可能性について保健所の判断が出るまでの間、子どもたちへの感染リスクを考え、該当の教職員が活動した学校の始業式を延期したところです。

それ以降においても、感染者が確認できたことから、保健所の指示に基づき念のため短期間学級閉鎖を行った学校もありました。現在では、子どもたちや教職員もどこで感染するかわからない状況です。日々の教育活動に細心の注意をはらって、リスクの高い活動は以前にも増して行わず、より工夫をして行うことで感染者が出たとしても、学校内での感染拡大の懸念がないことを保健所と常に連携し確認しているところです。

ここ数日、全国及び兵庫県においても感染者の数は減少傾向ですが、まだまだ予断を許さないところです。ただ、何とか10月から改善されることを願っています。1学期実施できなかった修学旅行や自然学校など、校外学習は何としてでもできる方向で考えていきたいと思っています。感染拡大の収束を願うばかりです。

それでは、先月の定例会以降の活動について報告ですが、今月は9月市議会が中心でありました。その様な中、22日には令和4年度から新たにスタートする、第3期の三田市教育振興基本計画の検討委員会、最終の委員会を開催しました。

昨年12月から6回にわたって、検討委員の皆さんからご意見をいただき、まとめていただきました。10月6日に佐藤委員長から答申をいただくこととなっており、この答申を基に市教育委員会としての振興計画案を作成し、パブリックコメントとを経て、本年度最終の3月議会に提案して審議いただき、議決後来年度より実施してまいりたいと思っています。各委員の皆さんには、答申いただいた計画素案の説明をさせていただき、パブリックコメントを行う市教育委員会としての行政案策定にあたってご意見等いただければと思っていますので、よろしく願いいたします。

私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。
本日の議事はございません。

日程第7 報 告 事 項

- 教育長
(鹿嶽 昌功) 続きまして報告事項に移ります。
報告第25号「第362回定例会市議会(9月定例会)一般質問について」事務局から説明をお願いします。
- 学校教育部長
(松下 修) 報告第25号「第362回定例会市議会(9月定例会)一般質問について」事務局から説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 何かご質問等ございませんか。
- 教育委員
(吉田 礼子) 県費職員の欠員の状況は市議会で答弁された時と変わりませんか。
- 教育総務課長
(浅野 晋司) 変わっておりません。市費職員の欠員につきましては4名から1名へと解決の方向へ向かっておりますが、県費職員につきましては変わっておりません。
- 教育委員
(吉田 礼子) なかなか見つからないのは何か原因があるのですか。
- 教育総務課長
(浅野 晋司) 根本的な理由としまして、今までに臨時職員で勤めていただいていた教職員の数そのものが減ってきています。免許保持者の方々の高齢化に伴い、その方々が抜けることで人数が減少しております。また、高齢の教職員が抜けた後を補ってきた新規の免許取得者(既卒者)の数が減ってきているため、任用が追いついていない状況です。
- 教育委員
(吉田 礼子) 免許更新制度等で免許を失くした方を再任用しにくい、あるいは臨時で任用しにくいといった事も関係ありますか。
- 教育総務課長 まったく関係がないわけではございません。免許を持ってい

- (浅野 晋司)
- て、働きたいと希望した時にタイミングが合わず任用できない事もありますので、一部理由としてあります。ただ、それだけではなくて、現状は色々な形で募集しても応募はありません。他市も同様であり、全体的に人が足りていない状況です。
- 教育委員
(吉田 礼子)
- 長期化しているように思います。
- 教育総務課長
(浅野 晋司)
- 実際4月から任用できておりませんので、手を尽くしきれていないため大変心苦しく感じております。
- 教育委員
(吉田 礼子)
- わかりました。
大変な状況ですが引き続きよろしく願いいたします。
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- 他にご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- つづきまして、
報告第26号「10月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。
- 教育総務課担当
課長(上野 樹)
- 報告第26号「10月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- 何かご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。
- 日程第8 その他の報告**
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- では、次回、10月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課担当
課長（上野 樹）

10月教育委員会定例会の開催日時は令和3年10月27日（水）午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしく願いいたします。

○教育長
（鹿嶽 昌功）

それでは、各校長からの報告です。
まず中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
（大野 正人）

○2学期の始まり
8月27日に始まった2学期ですが、「新型コロナウイルス」感染症をめぐる状況はこれまでで最悪といえるほど厳しく、9月3日までは午前中授業の緊急措置を取らざるを得ませんでした。三田市立中学校では、例年であれば9月前半は「体育大会」、後半は部活動の「新人大会」へ向けての練習や練習試合と「スポーツ」色に染まります。しかし、それもストップ。「体育大会」は学校により、延期もしくは形を大きく変えて体育の授業の一環として行うということとしています。部活動は、始業式の日から停止となっています。13日からは、公式大会3週間前からは平日4日、1日2時間以内での活動は認められていますが、練習内容は極めて限られたものとなり、10月2日、3日に実施される「三田市中学校新人大会」や「三田市中学校駅伝競走大会」に耐えられるだけの体力が回復できるか、怪我なく大会を終えることができるか、心配ばかりが先に立ちます。

○学校行事について

1学期から延期されていた「修学旅行」ですが、9月に予定されていたすべての学校で再延期となりました。
本校では、学校のみならず生活すべてにおいて制約を受け、更に成長期にも関わらず運動や体を動かして遊ぶこととする満足に行えないストレス、また何よりも「感染症」に対する日々の不安から、子どもたちの「体」と「心」の健康を守るため、あえて「体育大会」を延期せず、競技内容を大幅に変えて「合同体育」という形で行いました。グラウンドは「笑

顔」と「拍手」に包まれました。生徒の自己評価用紙には、「大声で応援しあうことはできなかったが『拍手』でひとつになれた」や「『ラジオ体操』でみんなの心が繋がった」、「終了後のテントの片付けをとおしてクラスの絆を深めることができた」などの感想が並び、「涙」なしには読み進められなかったと多くの担任から聞いています。

○現在の感染状況について

「ワクチン接種」の進行、更に三田市立学校では、9月3日までの午前中授業、9月13日付文書「緊急事態宣言が延長されたことを踏まえた学校における対応について」に基づく教育活動の実施により、三田市立中学校においても「新型コロナウイルス」の感染状況は少しずつではありますが良い方向に進んでいます。また、個人用タブレットも学校で、また家庭で着実に活用の幅が広がっています。

9月末から10月にかけては、「中間考査」「三田市及び丹有地区新人大会」さらには「修学旅行」「転地学習」と学校行事が続きます。また、高等学校などでは学校説明会やオープンスクールも実施されます。このようななか、中学校長会では子どもたちの「命」と「心」を最優先し、安全・安心の中で教育活動ができるよう、「新型コロナウイルスを学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本とし、感染症対策に最善をつくすとともに、子どもたち一人一人の心のケアに全力を尽くし、保護者や地域の皆様と心を合わせ、日々の教育活動に全身全霊で努めてまいります。三田市教育委員会の皆様には、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

○小学校校長代表 (木久 整)

○2学期の始まり

令和3年度もあと1週間足らずで折り返しとなりますが、その半分の期間が新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言下に置かれています。9月30日で解除されるようですが、すでに今回の第5波の次に必ず来る第6波の様々なシミュレーションが出されています。それを見ると、中には第5波よりも新規感染者数が多いというものもあり、第5波がまだ完全には終息していませんが、そ

の時に向けてさらに備えをしていかなければならないことを痛感しています。そんな中、私たち校長もなかなか難しいかじ取りを強いられているのですが、三田市教育委員会作成のガイドラインに沿いながら感染予防に努めつつ、日々の教育活動に取り組んでいます。2学期は、1学期にできなかった行事も含めたくさんの行事があります。多くの学校では運動会に向けての練習たけなわというところです。子どもたちが達成感や満足感を味わうことのできる運動会になるよう取組を進めています。また、他にもある2学期の様々な行事を充実した形で終わられるよう各学校では準備を進めています。

○衛生サポートスタッフ

教職員による放課後の消毒の負担軽減のための学校衛生サポートスタッフが配置され、消毒作業の仕事を担っていただいています。また、配置期間を2学期いっぱいまで延期していただき、職員に休み時間や放課後に余裕が生まれ、学びの保障のための教材準備や教材研究、各種の会議や打ち合わせが計画的にでき、とても助かっています。

○小学校長会からの要望について

本日、10時より教育長、部長、次長に時間を作って頂いて、小学校校長会で考えた小学校の現状と課題を、令和4年度への予算要望と合わせて伝えさせていただきました。今後も新型コロナウイルス感染症に関する予期せぬ事態、もしくはそれ以外でも予期せぬ事態が起こるかもしれません。危機管理をしっかりとしながら、学校運営を進めていきたいと思っています。

○教育長 (鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
それではその他配布資料またはご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員 (大野 裕己)

教育振興基本計画について質問いたします。現時点での素案を拝見し、これまでの検討委員会で丁寧な協議を重ねて作り上げられていると見受けられますが、委員会としてこれまで大事な論点、またはポイントがあるようでしたらご説明をお願いします。

また、わたしからの意見としまして、教育振興基本計画の素案を拝見したところ、国の状況や三田市の状況も勘案し丁寧な議論を重ねて作られていると思いました。三田の良さや、地域から学んで「社会に開かれた教育課程の実現」といった国のテーマも織り込まれた内容になっていると思いますが、「社会に開かれた教育課程」、また「地域と共にある学校」の三田市における実現に関わることについては、今回の教育振興基本計画への取組を通じて、子どもたちがどのように変化していったかという姿を丁寧に評価しながら進めていけるようにすることが大切だと思います。それが、今後パブリックコメント等を含め、最後の仕上げに取りかかる上で評価されても良いのではないかと思います。特に、地域と共にある学校作りは目標の共有が重要になってきますので、その点も重視していただければと思います。前回の教育振興基本計画の中では、地域の行事に子どもたちがどれだけ参加したのかが指標になって検証される構造になっていましたが、今回の教育振興基本計画素案の中には子どもたちの変化を見る点がもう少しあっても良いと思いました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
今回の第3期の教育振興基本計画につきまして、今回新たに3つの視点を加えております。1点目は、三田の子どもたちが、三田のまちや教育をどれだけ心に持って大人へと成長していき、その三田の教育をどれだけ思い出してくれるかという視点を重視しております。2点目は、昨今の変化の激しい時代の中で、子どもたちがいかにたくましく柔軟に生きていけるかという視点です。個々の施策の中で表すことがなかなか難しいのですが、その思いを施策に盛り込みながら進めていくことを大切にしています。3点目は、SDGs（持続可能な社会の実現）の部分も視点に取り入れながら各施策を進めていき、それぞれの施策に対し三田の教育を展開していくという同じ思いを持って策定していかなければならないと思っています。当然ながら、社会に開かれた教育課程や、地域と共にある学校という部分は意識しながら進めていきます。今は学校だけで子どもたちの教育は成り立ちませんので、家庭や地域の力を合わせて三田の教育を支えていくという思いを込めて作っていかなければならないと思います。先ほど子どもたちの変化というご意見もいただきましたが、現時点での素案の段階では検討委員の皆さんに議論いただきながら作

成しております。これから計画の最終段階へ進む前に計画の付加、付記、変更等もしていきながら進めてまいりますので、今回のご意見も参考にさせていただきたいと思っております。

○教育委員
(大野 裕己)

ありがとうございました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。
ないようでしたら9月教育委員会定例会を閉会いたします。